

2022年4月18日

国内3拠点（東北・九州）で再エネ電力100%を達成

太平洋工業株式会社（社長：小川信也）は、2022年4月より、東北の栗原工場・若柳工場および九州工場において、使用する全電力を再生可能エネルギー（以下、再エネ）へ切り替えが完了いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、各拠点のエネルギー事情に応じて、3つのアプローチで再エネ拡大の取り組みを進めており、太陽光パネルによる自家発電の導入、水力発電や風力発電由来等の再エネ電力購入、再エネ証書の購入から最適なものを導入しています。

栗原工場では、2022年1月よりPPA方式による太陽光パネルを設置し、年間見込み発電量660千kWhの発電設備の稼働をスタートさせるとともに、4月から外部購入電力は、すべて再エネ由来の電力に切り替えました。また、若柳工場、九州工場も、使用する全ての電力を再エネに切り替えを行い、これにより東北全拠点および九州拠点で再エネ電力100%達成となります。今回の太陽光自家発電導入、再エネ電力への切り替えにより、年間CO2排出の削減量は、東北2工場で2,300トン、九州工場で1,500トンを見込みます。今後も、太陽光パネルの増設、再エネ由来電力の調達、設備の高効率活用による省エネの強化、および日常改善などを組み合わせ、2030年度までに太平洋工業グループ全体でCO2排出量を50%削減(2019年比)、再エネ利用率20%の目標達成をめざします。

太平洋工業グループは、地球環境への取り組みの基本姿勢と行動を認識した「Pacific環境チャレンジ2050」を定めており、地球と調和した豊かな暮らしを実現する社会への貢献をめざし、グローバルに事業を行う企業として、脱炭素社会の構築に向け、グループ一丸となって環境活動に取り組んでまいります。



太陽光パネルを設置した栗原工場

<お問い合わせ先> 太平洋工業株式会社 安全環境部（担当：杉山）TEL:0584-93-0148